

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年5月分:速報)

＜対世界＞

○輸出総額:8,498億円(伸率:▲14.6%) ⇒ 2か月連続のマイナス

・順位:35位、5月としては2位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(557か月、5月は47か月)による。以下同じ。】

・減少品目:自動車(同▲26.8%)、半導体等電子部品(同▲33.2%)

○輸入総額:7,638億円(伸率:▲16.3%) ⇒ 4か月連続のマイナス

・順位:57位、5月としては5位

・減少品目:金属鉱及びくず(同▲30.2%)、半導体等電子部品(同▲33.5%)

○差引額:860億円(伸率:+4.1%) ⇒ 4か月連続の輸出超過

・順位:102位、5月としては3位

為替レート: 2025年5月:143.97円/ドル(2024年5月:155.48円/ドルと比べ7.4%の円高)

＜品目別動向＞

○輸出

自動車(2,979億円→2,180億円、伸率:▲26.8%)は、アメリカ(1,185億円→403億円、同▲66.0%)及び中国(705億円→541億円、同▲23.3%)向けが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

また、半導体等電子部品(1,134億円→757億円、同▲33.2%)は、香港(419億円→305億円、同▲27.1%)及びベトナム(162億円→54億円、同▲66.7%)向けが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

一方、映像機器(22億円→66億円、同3.0倍)は、中国(1億円→28億円、同20.1倍)及びアメリカ(4億円→14億円、同3.1倍)向けが増加し、3か月連続のプラスとなった。

○輸入

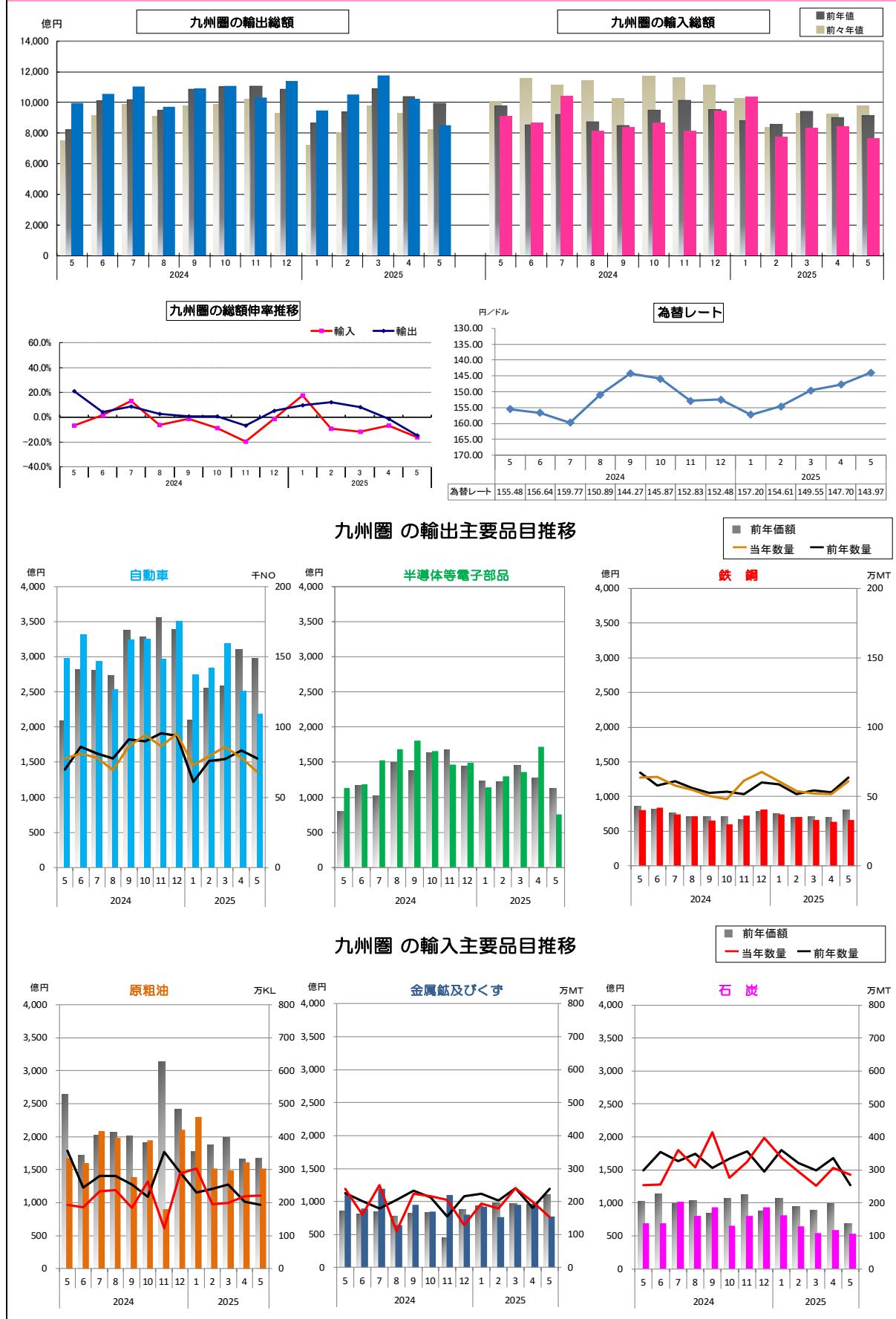
金属鉱及びくず(1,111億円→775億円、伸率:▲30.2%)は、鉄鉱石(420億円→193億円、同▲54.0%)が減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

また、半導体等電子部品(678億円→450億円、同▲33.5%)は、台湾(591億円→374億円、同▲36.7%)及び中国(53億円→47億円、同▲12.3%)からが減少し、3か月連続のマイナスとなった。

一方、原動機(40億円→64億円、同+61.1%)は、カナダ(実績なし→16億円)及びアメリカ(5億円→16億円、同3.4倍)からが増加し、3か月連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

令和7年5月分：速報



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。